

2023年度神戸大学基金の現況をお知らせします。

神戸大学創立120周年記念募金は2024年3月末を期限としておりますが、目標額に達する見通しがまだ立っておりません。中面でご紹介した本募金の目的を実現するために、引き続き皆様からのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

本年度は、「コロナ5類移行」を受け、キャンパスを以前の姿に戻し、あわせて再感染拡大や後遺症問題に備えて環境を整備しているところです。また、災害や不慮の事情で学業への支障や学生生活の困窮の不安を除くためにも、神戸大学基金を一層堅固なものとして参ります。

神戸大学基金では、現在、次の事業へのご寄附を募っています。

詳細は神戸大学基金のウェブサイトをご覧ください。

● 神戸大学創立120周年記念基盤事業

新しい時代の価値を産出する、「異分野共創研究教育グローバル拠点」として、学術的な文理融合のみならず、産官学の協働の場として成果を発揮することを目指すための基盤整備を図ります。

● 修学支援事業

罹災・事故等による修学・生活困難な学生への緊急奨学金、成績優秀かつ経済的事情により修学困難な新1年生への奨学金などに活用します。

● 寄附者名称記念事業

一定額以上のご寄附をいただいた皆様のお名前を本学の建物、講座、奨学金等に冠し、寄附目的に沿った形で優れた人材の育成・卓越した研究の遂行に役立てます。

● 課外活動団体支援

クラブ・サークル、ボランティア団体など、公認課外活動団体を支援します。特に、コロナ禍での活動への制約や通常以上の出費に対して、手厚い助成制度を設けます。

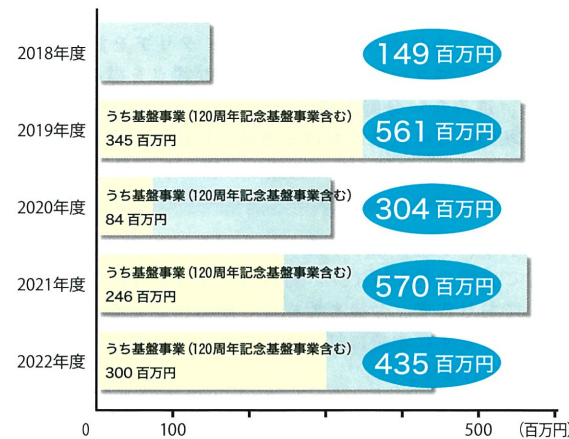
感謝の気持ちを末永く

- ご寄附いただいた方のご芳名を、神戸大学基金ウェブサイトに掲出します(希望されない方は非公開)。
- 一定額以上のご寄附をいただいた方のご芳名を、出光佐三記念六甲台講堂内の銘板に掲出します。
- 神戸大学基金に一定額以上ご寄附いただいた個人の方に、「神戸大学基金フェロー」の称号をお贈りし、フェローの方のみがご参加いただける「学長との懇談会」へご招待いたします。あわせて、本学オリジナルグッズ等の記念品をお贈りいたします。

*年間(1月～12月)20万円以上(累計が100万円以上の方は年間10万円以上)2022年(暦年)は「神戸大学基金フェロー」の称号を149人の方にお贈りしました。

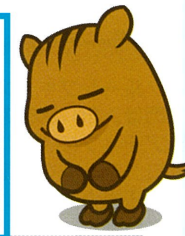
引き続き、神戸大学基金へのご支援をお願い申し上げます。

神戸大学基金にいただいたご寄附の推移(寄附講座を除く)



◆あわせて以下の用途特定事業へのご支援をお願いしています。

- 出版会出版基金 ○数理・データサイエンスセンター教育研究支援基金 ○ダイバーシティ基金 ○医学部附属病院あじさい基金 ○外国人留学生教育支援事業募金 ○計算社会科学センター研究支援事業募金 ○附属学校部教育研究基金



出光佐三記念六甲台講堂内の銘板

神戸大学基金に関するお問い合わせ

神戸大学 企画部卒業生・基金課

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
TEL:078(803)5414(平日9時～12時、13時～17時) FAX:078(803)5024
E-Mail:kikin@office.kobe-u.ac.jp <https://www.office.kobe-u.ac.jp/kikin/>



神戸大学基金

2022年度(2022年4月～2023年3月)の活動実績をご報告します。

ご協力いただき、ありがとうございます。

2022年度も、多くの皆様から神戸大学基金にご厚情と励ましを頂戴いたしました。ウクライナを取り巻く世界情勢、新型コロナウイルス感染症の流行と沈静など、不安定な社会環境の中で、本学の社会的な取り組みと学生の学修・研究活動にご支援を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。賜りました温かいご篤志を、諸活動に有難く活用させていただいていることをご報告申し上げます。

昨年12月には、本学創立の起点となる神戸高等商業学校の設置から120周年を迎えました。新たな時代の扉を開き、地域と国際社会への貢献と、学修・研究の環境整備を支援する神戸大学基金の一層の充実を図ってまいります。

学生等への直接的な支援に

冠奨学金(寄附者名称記念事業)

19,960,000円

学生への経済的支援、有為な学生の育成、起業マインドの醸成などを目的に、卒業生や企業・個人の方からお寄せいただいた冠奨学金を、学生88人に給付しました。

課外活動への助成(基盤事業、課外活動支援事業)

13,423,981円

公認団体の大会参加費・遠征費など延べ32団体に約380万円、被災地等でのボランティア活動参加学生に交通費など約188万円を給付しました。また、特定のクラブ活動の物品購入や練習環境の充実に使途を限定した約570万円のご寄附とクラウドファンディングによる約204万円を、それぞれの団体に支給しました。

グローバル環境の推進

13,600,000円

コロナ禍で中断していた外国人留学生の受け入れを再開し、学部及び大学院の留学生(ダブルディグリープログラム、交換留学等)63人に助成金を給付しました。

困窮学生への修学支援

12,850,000円

不慮の出来事で学業の継続と生活の維持が困難となった学生7人に1人あたり25万円を、学業優秀でかつ経済的支援を必要とする学部新入生74人に1人あたり15万円を給付しました。

海外留学・研修派遣の支援

3,650,000円

グローバルセンスを磨き、国際的競争力を身につけ、学修・研究に役立てるための留学等を支援することを目的に、学業優秀学生8人を対象に計245万円を、さらに「神戸グローバルチャレンジプログラム」の参加者27人を対象に計120万円を給付しました。

新型コロナウイルス感染症対策緊急募金(学生支援)

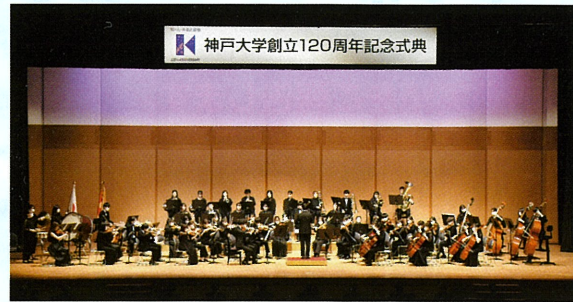
4,750,452円

外国人留学生への検疫期間中の滞在費支援及び自宅待機学生への食料等支援に加えて、経済的に困窮している学生に計475万円を給付しました。



神戸大学創立120周年記念募金に

神戸大学は、1902(明治35)年設置の神戸高等商業学校をルーツとして、創立の起点としています。国際港湾都市・神戸において「学理と実際の調和」という校風を継承し、1949年に文系と理系のバランスの取れた総合大学となり、2022年に120周年を迎え、12月に記念式典を開催しました。



今後は、さらに文理の枠を超えた異分野共創型の先端的な研究教育グローバル拠点を目指し、新しい価値を創造する世界トップクラスの研究総合大学として社会に貢献して参ります。このための財政的基盤の強化として、創立120周年記念募金を2019年12月に開設しました。期限を2024年3月末として30億円の目標額を設定しています。

創立120周年記念基盤事業

- 分野間を融合・横断し、先端的な知見や技術を体系化して応用できる、傑出する“知”の創出を目的とした研究活動を支援します。
- 新たな価値の創造を目指し、イノベーションへの高い意欲を持った、卓越する“人材”の育成を目的とした教育活動を支援します。
- 「異分野共創研究教育グローバル拠点」構想を実現するための、さまざまな環境の整備を目的とした事業を支援します。
- 修学環境の向上、海外留学・派遣の助成、留学生の受入拡大、キャリア形成支援、キャンパス・ライフの充実の応援と補助など、大学の行う各種活動の財政的基盤を強化します。

知・人・共創と協働



創立120周年記念募金の詳細は、趣意書及び神戸大学基金ウェブサイトをご覧ください。

神戸大学基金 検索



特定事業等への支援に

神戸大学基金は、学生等への直接的支援のための寄附や、創立120周年記念募金以外にも、神戸大学の研究や教育の進展を加速し価値を高める「使途特定事業」への支援をいただきました。これらの事業の充実、大学の国際的競争力やブランド力を高め、社会発展への貢献となり、また特定の目的をもった事業の完遂をサポートすることで、修学・研究・地域貢献の環境を整えます。また、研究支援を目的とするクラウドファンディングも活発に行っています。

農学部教育研究振興基金

2019年度の農学部創立70周年を機に、農学部と附属食資源教育研究センターの施設・設備を改築・更新しました。その後、温室の新設について検討を進め、農学部・農学研究科同窓会である六篠会様からのご支援をいただき、ゲノム編集技術を用いた研究が可能な特定網室が2023年3月に完成しました。

工学部創立100周年記念事業

2021年12月に、前身校から数えての創立100周年を迎えたことを機とする基金です。一般募金事業として、若手人材の育成、国際的人材が集う場の創生・教育プログラムの充実、研究の育成と支援、コロナ禍における学生支援・教育研究環境の整備などに、また特定募金事業として、IMDプログラム、共同研究などの産学連携を実施しています。2022年9月に創立100周年記念式典を開催し、2023年3月に記念誌を発行しました。

出版会出版基金

神戸大学出版会は、2017年4月の設立以来、高校生・一般向けから専門書まで、23冊の書籍を刊行し(2023年3月末時点)、販売累計は6,000冊を超えています。本学の研究・教育の成果を社会に還元し、広く普及することを目的として、積極的に出版事業を展開するための基金です。

文学部・大学院人文学研究科創立70周年記念事業

本学の人文学研究・教育の成果を社会に還元する書籍として、記念出版『人文学を解き放つ』を刊行しました。記念事業として、教員及び学生による出版を助成する公募を2023年度も継続して行っています。また、人文科学図書館に所蔵する貴重書の選定も本事業のひとつです。

附属学校部教育研究基金

附属学校・園での教育内容の充実、教育施設と環境の整備、課外活動施設の整備・充実、図書及び研究施設の整備・充実等を目的として、2021年12月に設立した基金です。2022年度に頂戴したご寄附より、附属小学校のメディアスペースの充実として、書籍の購入に充当しました。

数理・データサイエンスセンター教育研究支援基金

2017年12月に設置した数理・データサイエンスセンターにおける、研究・技術開発への支援、大学院生と研究者への支援、中学生や地域等へのデータサイエンスの普及、産官学地域連携のサポート体制強化のためのご寄附を募っています。2022年度は、中学生・高校生データサイエンスコンテストを開催し、成績優秀チームに表彰状と賞品を授与しました。

2022年度、皆様から434,970,682円*のご寄附をいただきました。誠にありがとうございました。

*寄附講座・運用益を除く。

ご寄附の内訳		
法人	105件	160,358,474円
団体	19件	11,534,142円
個人	2,938件	257,504,952円
古本募金・クラウドファンディングなど 5,573,114円		
(別途寄附講座 28件 662,900,000円)		

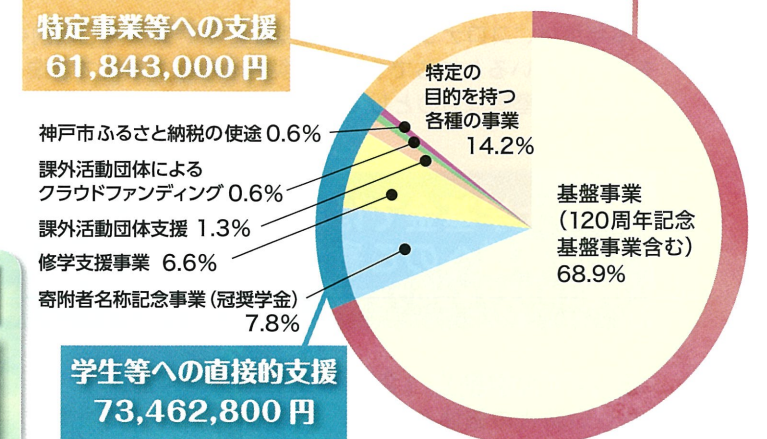
学生からのお礼のメッセージ

皆様からのご支援によって、私はグローバルチャレンジプログラムに参加しフランス・イタリアを訪れました。そこで様々な刺激を受けて新たな視点を得ることができ、進みたい分野を絞る一助になりました。今後とも、私のように人生における重要な転換点を迎えることができる学生への温かいご支援をお願い申し上げます。

私が今、学業に集中することができるのは、皆様の寛大なご支援のおかげです。寄付していただき、本当に感謝しております。今後も皆様のご期待に添えるよう、努力を惜しまずに学業に打ち込んでまいります。心より感謝申し上げます。

この度は皆様の温かいご厚意により、多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年度こそ日本一となり、結果で返してできるよう、部員一丸となって励んでまいります。今後とも変わらぬご支援、ご声援の程、よろしく願いいたします。

基盤事業(120周年記念基盤事業含む)
299,664,882円



学生等への直接的支援
73,462,800円

家計の困窮により、大学で教鞭を取る夢を諦めることも覚悟していました。そんな中、皆様からの寄附金のおかげで、なんとか夢を叶えることができました。神戸大学を離れても、この御恩を忘れずに社会に貢献していきたいです。寄附をいただいた皆様、本当にありがとうございます。

奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。奨学金のご支援のおかげで、留学など、高校時代からの目標であったこと、やりたかったことを諦めずに、学費の支払いを行うことができ、学業に集中することができております。今後も、貪欲に学ぶことをやめず、一層努力してまいりたいと思います。ご支援をくださったすべての方々に心よりお礼申し上げます。

ダイバーシティ基金

インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター・ジェンダー平等推進部門は、2018年度に文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」事業の採択を受け、女性研究者の国際共同研究プログラム等を策定しました。事業期間終了後も継続して、女性研究者の研究力向上とダイバーシティの推進に取り組むためのご寄附を募っています。

計算社会科学センター研究支援事業募金

計算社会科学センターは、新しい社会科学としての計算社会科学を確立・体系化し、世界的に同領域を牽引する国際研究拠点を形成することを目指しています。2021年2月より、研究活動の推進と充実、研究成果の活用のためにご寄附を募っています。

あじさい基金

2019年6月より、附属病院の診療環境の整備や医療スタッフの育成、患者サービスの向上を目的としたご寄附を募っています。2022年度は約3,800万円のご寄附をいただき、アートギャラリー内に展示スペースを設置するなど活用させていただきました。

外国人留学生教育支援事業

本学で学ぶ外国人留学生が一層充実した学生生活を送ることができるよう、2020年10月に本事業を開始しました。留学生教育の質を高めるとともに、経済的なサポートを目的とする奨学金事業を行っています。また、万一の災害時等において、留学生が安心して学修・研究を続けるための支援にも取り組みます。

海洋底探査研究支援基金

海洋底探査センター(KOBEC)では、最先端の観測機器を持つ附属練習船『海神丸』を使って海域を観測・研究しています。2021年12月に、海のグローバルリーダーやエキスパートとなる人材育成などを目的として本基金を設立し、さらなる研究の推進のための財務基盤強化を図っています。2023年度には、南海トラフ地震発生域における海底下活断層探査のために基金を活用いたします。

その他

課外活動団体等、継続的にご支援いただいている事業があり、2022年度は学生のクラウドファンディングにもご支援いただきました。また、いただいたご寄附は、複数の年度にわたって支出するものがあります。このほか、神戸大学120年史編集刊行事業、募金活動強化等のための支出がありました。